【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和4年1月21日(2022.1.21)

【国際公開番号】WO2020/213592
【出願番号】特願2021-514162(P2021-514162)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｍ 11/02(2006.01)
Ｂ６２Ｍ 7/00(2010.01)
Ｂ６２Ｍ 7/02(2006.01)
Ｂ６２Ｍ 23/02(2010.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｍ 11/02 ＺＨＶ
Ｂ６２Ｍ 7/00
Ｂ６２Ｍ 7/02 Ａ
Ｂ６２Ｍ 23/02 １１０

【手続補正書】
【提出日】令和3年10月18日(2021.10.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
ギアボックス５３は、駆動モータ５１から出力されたパワーを所定の変速比により変速して、駆動輪である後輪３２に伝達する動力伝達機構５３１を収容する。本実施形態において、動力伝達機構５３１は、例えば減速機を構成する。ギアボックス５３は、フレーム本体１１に支持される。
ギアボックス５３は、図１のパート（ｃ）に示す通り、以下の条件（ｖｉ）から（ｘ）を満たすように配置される。
（ｖｉ）第１の方向及び第１の方向と反対の第２の方向からなる鞍乗型車両１の左右方向ＬＲにおいて、駆動モータ５１よりも第２の方向に位置する。より詳細には、鞍乗型車両１の左右方向ＬＲにおいて、駆動モータ５１よりも右方向Ｒに位置する。
（ｖｉｉ）鞍乗型車両１の左右方向ＬＲに見て、駆動モータ５１と重なりを有するように配置される。
（ｖｉｉｉ）第１の方向及び第１の方向と反対の第２の方向からなる鞍乗型車両１の左右方向ＬＲにおいて、コントロールユニット５２よりも第１の方向に位置する。より詳細には、鞍乗型車両１の左右方向ＬＲにおいて、コントロールユニット５２よりも左方向Ｌに位置する。
（ｉｘ）鞍乗型車両の左右方向ＬＲに見て、コントロールユニットと重なりを有するように配置される。
（ｘ）鞍乗型車両１の左右方向ＬＲに見て、電源ユニット４０と重ならないように配置される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８２】

本実施形態において、バッテリユニット４０ｂは、コントロールユニット５２の駆動コントロールユニット５２１を介して駆動モータ５１に電力を供給する。駆動モータ５１は、供給された電力により回転パワーを出力し、後輪３２を駆動する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８３】
［変形例１］
バッテリユニット４０ｂは、車体の骨格をなすように構成できる。即ち、バッテリユニット４０ｂを、フレーム構造体１０の一部を構成するように、フレーム本体１１及び駆動ユニット５０の少なくとも一つに取り付けることができる。この時、バッテリ４３を、フロントフォーク２１を介して前輪２２から荷重を受け、リアアーム３１を介して後輪３２から荷重を受けるように構成するようにすることができる。